

石巻専修大学

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

最新の
情報は
大学HPで。



https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

大盛況「いしのまき祭り」 人間学部5人が参加 専大生と企画・運営

石巻の魅力都内でPR

迎「石巻交流セミナー」に参加。専大生34人とともに、震災遺構や観光スポットを視察し、9月以降はオンラインミーティングを重ねて、イベント本番を迎えた。

専大生と活動した8月の交流セミナー



で、震災のことは忘れてはならない。私たちの世代が語りついでいかなければならないと改めて感じた」と語った。

共創研究センターシンポジウム 石巻市の将来像を展望



研究プロジェクトの成果を報告

小松真治経営学部助教は、将来の地域別人口の分析結果について説明。中山愛子経営学部特任准教授は、高齢者、子育て世帯にのつての住みやすさを地区別に分析した結果を明らかにした。梅山光広理工学部教授は、コンパクトシティにおけるまちづくりに適した移動手段(モビリティシステム)について発表した。

最優秀賞の稲葉ゼミチーム



同コンテストは、市と一般社団法人石巻青年会議所で行った。最優秀賞に輝いたのは、経営学部・稲葉健太郎が中心で、石巻地方に暮らす高校生・大学生が、若者らしい斬新な政策提案を競う。決勝大会には計5チームが参加。10年後に住みたい石巻をテーマに、練りに練ったアイデアを発表した。

いしのまき政策コンテスト
稲葉ゼミが最優秀賞
岡野ゼミは優秀賞
10月29日、石巻市かわれた「いしのまき政策コンテスト」の決勝大会で、まち交流センターで開かれた「いしのまき政策コンテスト」の決勝大会で、本学のチームが最優秀賞と優秀賞を獲得した。

2024年度入学試験
1月3日(水)
出願受付開始

- ◆ 一般選抜A日程
- ◆ 特待生選抜
- ◆ 大学入学共通テスト利用選抜A日程

★出願締め切りは入試制度によって異なります。詳細はホームページ等で必ずご確認ください。

入試情報はこちらから▶



11月19日、東京都千代田区の専修大学神田キャンパスで開かれた「いしのまき祭り」に、人間学部の1〜3年次生5人が協力し、専大生とともに石巻の魅力を紹介した。5人は、8月に行われた専修大学の「新入生歓迎」に、実際に震災遺構や観光地を見学し、いろいろな面を知ることができた」と話した。伊藤野花さん(人間1・宮城県塩釜高)は「オンラインで専大生と一緒に作業するのは楽しかった。石巻の魅力を知らなかった。専大生と一緒作業するの楽しかった。石巻の魅力を知らなかった。専大生と一緒作業するの楽しかった。」

光地を見学し、いろいろな面を知ることができた」と話した。伊藤野花さん(人間1・宮城県塩釜高)は「オンラインで専大生と一緒に作業するのは楽しかった。石巻の魅力を知らなかった。専大生と一緒作業するの楽しかった。石巻の魅力を知らなかった。専大生と一緒作業するの楽しかった。」

本学共創研究センターは11月14日、石巻市のマールホムまきあーとテラスで、市共催のシンポジウム「いしのまきの将来像を考える」を開催した。このシンポジウムは、共創研究センターの2023年度研究プロジェクト「石巻市将来都市研究」(研究代表者:浅沼大樹)の報告として行われた。市共催のシンポジウム「いしのまきの将来像を考える」を開催した。このシンポジウムは、共創研究センターの2023年度研究プロジェクト「石巻市将来都市研究」(研究代表者:浅沼大樹)の報告として行われた。

パネリストは、浅沼大樹(経営学部教授)と、市共催のシンポジウム「いしのまきの将来像を考える」を開催した。このシンポジウムは、共創研究センターの2023年度研究プロジェクト「石巻市将来都市研究」(研究代表者:浅沼大樹)の報告として行われた。

人間学部人間文化学科の遠藤郁子教授が担当する日本文学・文化研究室では、文学、映画、漫画などについて広く学んでいる。石巻ゆかりの文学や表現活動も主な学修テーマの一つで、昨年度は石巻市震災遺構門脇小宮沢賢治の詩碑の前で、宮沢賢治の詩「隅の隅に白和山」を鑑賞し、詩人が見た夕暮れに染まる日と山に思いをはせた。今回の学修の成果は、日本文学

の選定や仕入れ、商業施設などへの出店から接客までを行う販売実習。浅沼ゼミは授業で学んだ専門知識を生かし、提案やアドバイスをを行うなど、2021年度から協同している。今年度は広報担当として協力。高校生とのワークショップを複数回開き、広報戦略を練ったり、ホームページを作ったり、ホームペー

手作りの猫神社(手前)と猫形ロジ

学生が制作した緑の七夕飾りも会場を彩った

宮沢賢治の詩碑の前で



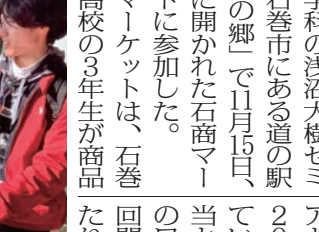
ツアアの締めくくりには、吉増剛造の詩「隅の隅に白和山」を鑑賞し、詩人が見た夕暮れに染まる日と山に思いをはせた。今回の学修の成果は、日本文学

マップとしてまとめる計画で、現在作業を進めている。菅原康誠さん(3年次・鹿児島県屋久島おおぞら高)は、「石巻にゆかりのある文人や俳人の多さに驚かされた。地域性や風土に根ざした文学について、の直接的な体験は貴重で、今後の文学研究に役立てたい」と話した。

日本文学マップを構想する学生たち

人間学部人間文化学科の遠藤郁子教授が担当する日本文学・文化研究室では、文学、映画、漫画などについて広く学んでいる。石巻ゆかりの文学や表現活動も主な学修テーマの一つで、昨年度は石巻市震災遺構門脇小宮沢賢治の詩碑の前で、宮沢賢治の詩「隅の隅に白和山」を鑑賞し、詩人が見た夕暮れに染まる日と山に思いをはせた。今回の学修の成果は、日本文学

来場者アンケートを行う浅沼ゼミ生



の選定や仕入れ、商業施設などへの出店から接客までを行う販売実習。浅沼ゼミは授業で学んだ専門知識を生かし、提案やアドバイスをを行うなど、2021年度から協同している。今年度は広報担当として協力。高校生とのワークショップを複数回開き、広報戦略を練ったり、ホームページを作ったり、ホームペー



宮沢賢治の詩碑の前で



ツアアの締めくくりには、吉増剛造の詩「隅の隅に白和山」を鑑賞し、詩人が見た夕暮れに染まる日と山に思いをはせた。今回の学修の成果は、日本文学

マップとしてまとめる計画で、現在作業を進めている。菅原康誠さん(3年次・鹿児島県屋久島おおぞら高)は、「石巻にゆかりのある文人や俳人の多さに驚かされた。地域性や風土に根ざした文学について、の直接的な体験は貴重で、今後の文学研究に役立てたい」と話した。

日本文学マップを構想する学生たち

人間学部人間文化学科の遠藤郁子教授が担当する日本文学・文化研究室では、文学、映画、漫画などについて広く学んでいる。石巻ゆかりの文学や表現活動も主な学修テーマの一つで、昨年度は石巻市震災遺構門脇小宮沢賢治の詩碑の前で、宮沢賢治の詩「隅の隅に白和山」を鑑賞し、詩人が見た夕暮れに染まる日と山に思いをはせた。今回の学修の成果は、日本文学

来場者アンケートを行う浅沼ゼミ生



の選定や仕入れ、商業施設などへの出店から接客までを行う販売実習。浅沼ゼミは授業で学んだ専門知識を生かし、提案やアドバイスをを行うなど、2021年度から協同している。今年度は広報担当として協力。高校生とのワークショップを複数回開き、広報戦略を練ったり、ホームページを作ったり、ホームペー